

白河市 施策評価シート
(令和2年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	部落差別解消推進・人権啓発課	小坂 幸雄	3170

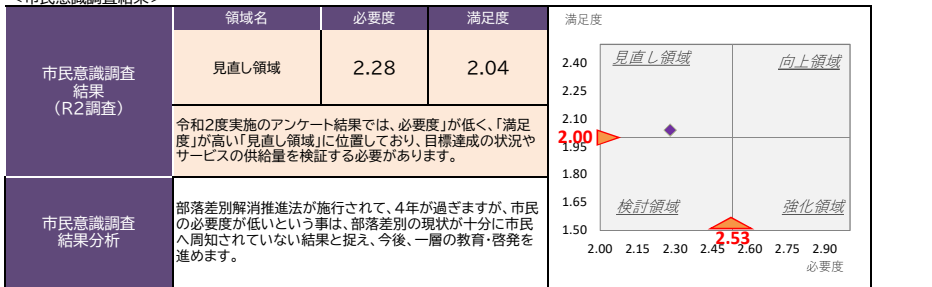
コード	V-16-35	施策名	同和問題(部落差別問題)に対する正しい理解
施策の方針	一人ひとりの人権が尊重されるまちをつくる		
まちづくりの方針	磨き輝き続ける市民がつながり、白河っこが育つまち(学び)		
5年後のめざす姿	市民一人ひとりが同和問題(部落差別問題)に関心を持ち、正しい理解により差別を許さない意識を広めていくことで部落差別の解消をめざします。だれもが平等に生きる権利を保障するために、部落差別解消を目的とし、不当な差別を許さない社会を築くため、学習の機会を確保し、確かな知識と実践力を身につけることのできる教育・啓発及び指導者の充実に努めます。学校においても、「部落差別の解消の推進に関する法律」の趣旨を理解し、必要な教育及び啓発に努めます。		
施策の内容	誰もが平等に生きる権利を保障するために、部落差別解消を目的とし不当な差別を許さない社会を築くため学習の機会を確保します。差別をなくす運動月間における講演会の市民参加や企業・地域を対象とした人権・部落差別問題の研修会等を充実していきます。		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移					
				R1	R2	R3	R4	R5	R6
	登録型本人通知制度の事前登録者数【累計】	市民課及び市民生活推進課の登録台帳	人	3,495	3,700	4,000	4,300	4,600	5,000
	企業・団体で行う研修会の実施回数	部落差別解消推進・人権啓発課事業実績	回数	48	50	55	60	66	66
	同和問題(部落差別問題)についての授業を実施した小・中学校の割合	市内の小・中学校の中で、部落差別問題についての授業を実施した学校の割合	割合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	新たに白河市に入社または、管理職に昇任した教員のフィールドワーク参加者率	新たに白河市に入社または、管理職に昇任した教員のうち、フィールドワークに参加した者の割合	割合	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0%
			目標						
			実績						
			達成率						
			目標						
			実績						
			達成率						
			目標						
			実績						
			達成率						

指標の分析
新型コロナウイルス感染症の影響で、企業・団体等での研修会は、激減しました。今後は感染症対策も留意したうえで研修会実施を多くの企業・団体に働きかけていきます。登録型本人通知制度の登録数は目標を超えることができました。小・中学校ではすべての学校が部落差別問題を扱うことができました。転任教諭や新任管理職のフィールドワーク参加率は、目標の達成ができました。今後も取り組みを進めていきます。

<市民意識調査結果>



<次年度以降の課題>

令和3年度以降の課題
部落差別解消推進法が施行されて、4年が過ぎますが、結婚差別やインターネット上の差別がまだまだ続いています。昨年度実施した「人権・同和問題に関する市民意識調査」では「同和問題(部落差別問題)を知っている。」と回答した人が前回調査と比較して3.3ポイント増加しています。また、58%の人が「人権・同和問題について今後も学習したい。」との結果が出ているため、今後も教育啓発に力を入れていきます。また、新型コロナウイルス感染症の影響で今年度は講演会や研修会の実施に支障がありましたが、来年度以降は感染対策などを十分に考慮した形の教育・啓発を進めていきます。

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共の み	他の 関連施策 コード	
				R1年度 実績	R2年度 実績	R3年度 見込み				
1	人権・同和施策の企画立案	部落差別問題に関する講演会・研修会、各種啓発事業	部落差別解消推進・人権啓発課	○	10,612	5,433	8,316	-	○	
2	隣保館運営費事業	地域生活相談センター及び地区相談・地区研修・啓発事業	部落差別解消推進・人権啓発課	○	2,348	2,213	1,912	-		
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
合計					12,960	7,646	10,228			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響で、人権教育・人権啓発の推進に大きな影響がありました。しかし、部落差別の解消の推進に関する法律が施行されて4年目を迎え、昨年行った「人権・同和問題に関する市民意識調査」でも徐々に部落差別問題への市民の認知度も上がっています。今後は事業を継続し、「部落差別問題」を中心とした人権課題について様々な場や手段を利用して啓発を進める必要があります。また、その手法も感染症対策を十分に留意しながら進めていきます。	課長評価	最重要施策であり、来年度強化する
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)> ※以降の評価は、令和3年度~令和5年度の3年間に分けて実施予定。

実施年度	内部評価
令和5年度 実施予定	-

<白河市行政活性化推進委員会による外部評価:最終>

評価のコメント	外部評価
	-

<白河市行政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--